

# 運用報告書 (全体版)

第7期<決算日2020年9月25日>

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2013年10月16日から2028年9月25日までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	投資信託証券。
	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド-USDクラス	主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行います。
	国内短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド-USDクラスへの投資を通じて、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、米ドルを買い予約する為替取引を行います。	
組入制限	当ファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド (年1回決算型)」は、2020年9月25日に第7期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド（年1回決算型）

### ■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配 み 金	騰 落 率		
3期 (2016年9月26日)	円 10,716	円 0	% △8.9	% 96.6	% 0.1	百万円 124
4期 (2017年9月25日)	12,743	0	18.9	97.3	—	114
5期 (2018年9月25日)	12,931	0	1.5	96.6	—	107
6期 (2019年9月25日)	13,308	0	2.9	98.1	0.1	54
7期 (2020年9月25日)	13,366	0	0.4	95.6	0.1	47

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

### ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 債 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2019年9月25日	円 13,308	% —	% 98.1	% 0.1	
9 月 末	13,377	0.5	98.1	0.1	
10 月 末	13,534	1.7	96.2	0.1	
11 月 末	13,646	2.5	95.8	0.1	
12 月 末	13,915	4.6	94.9	0.1	
2020年1月 末	13,861	4.2	96.3	0.1	
2 月 末	13,943	4.8	97.5	0.1	
3 月 末	12,185	△8.4	96.8	0.0	
4 月 末	12,656	△4.9	96.4	0.1	
5 月 末	13,209	△0.7	96.1	0.1	
6 月 末	13,293	△0.1	96.8	0.1	
7 月 末	13,390	0.6	96.6	0.1	
8 月 末	13,530	1.7	96.2	0.1	
(期 末) 2020年9月25日	13,366	0.4	95.6	0.1	

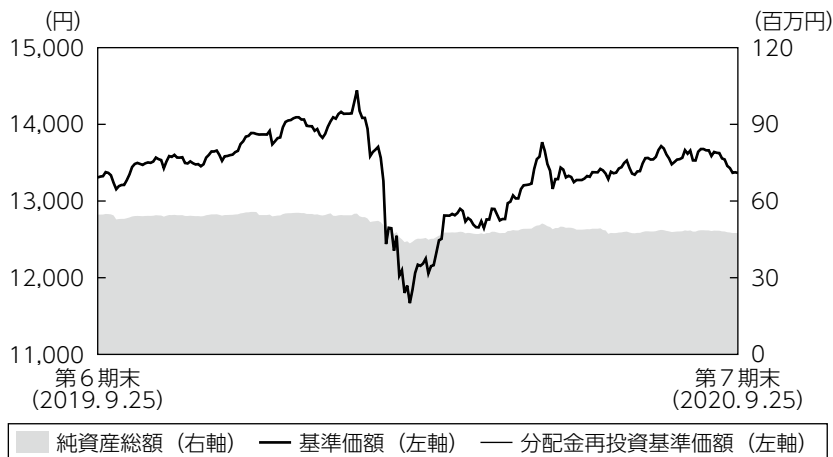
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■当期の運用経過（2019年9月26日から2020年9月25日まで）

### 基準価額等の推移



第7期首：13,308円  
第7期末：13,366円  
(既払分配金0円)  
騰落率：0.4%  
(分配金再投資ベース)

- 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

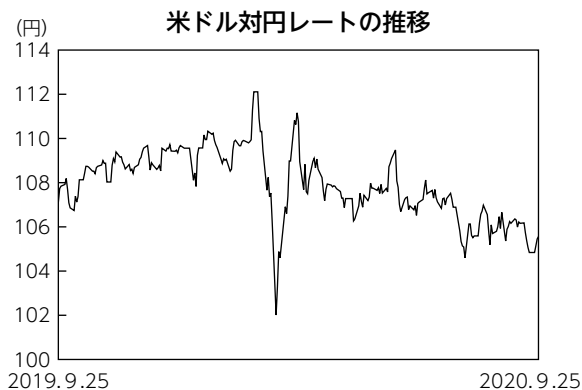
円建てのケイマン諸島籍外国投資信託である「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス」（以下、ハイイールド・ボンド・ファンドといいます。）を通じて、主として海外のハイイールド債券に実質的に投資を行いました。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資を行いました。ハイイールド債券市場が小幅上昇となったことから基準価額（分配金再投資ベース）は若干の上昇となりました。

## 投資環境

米中貿易交渉が第一段階の合意に至ったことなどから2019年末にかけてハイイールド債券市場は堅調な推移を辿りました。2020年に入り、2月後半に新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界的な景気の先行き不透明感が強まったことから大きく調整しました。その後、世界各国で大規模な金融緩和策が実施され、市場心理の改善が進んだことから、上昇に転じ、期初と比較して若干の上昇となりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっていることが要因となりました。

日米の成長格差などを背景に2020年2月にかけて緩やかな円安米ドル高となりました。2020年2月後半に新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気への影響が懸念されたことから為替相場は値動きの荒い推移となりましたが、米連邦準備制度理事会（F R B）が大規模な金融緩和策に踏み切ったことから、対円で米ドルは下落しました。その後、F R Bが金融緩和策を長期間維持するとの見方が強まったことなどから、期初と比較して円高米ドル安となりました。



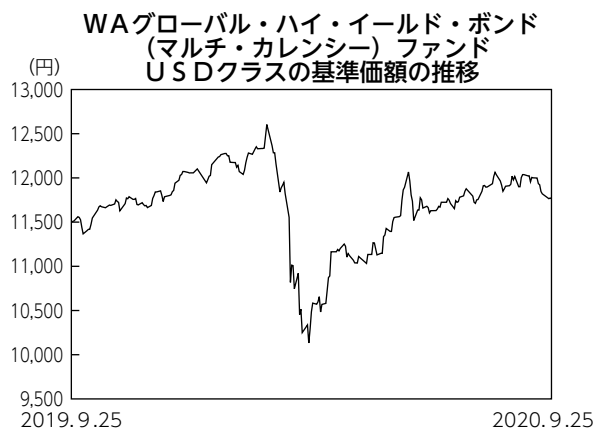
## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れました。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。

### ●WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス

2020年9月24日時点でのポートフォリオの状況は、キャッシュを除くベースで保有銘柄数は123銘柄、地域別では米国を選好しました。信用格付け別では、B格やBB格の銘柄を中心の組み入れを継続しました。また、セクター別では消費者関連、通信、エネルギーなどを中心とし、市場動向等に合わせ銘柄選択を行いました。



※基準価額は、当期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

### ●国内短期公社債マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指す運用方針を維持しました。マイナス利回りの債券については投資を見送り、期末時点の債券組入比率は低位となっています。

## 分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年9月26日 ～2020年9月25日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	5,113円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れる方針です。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続する方針です。

### ●WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス

新型コロナウイルスの世界景気への影響は依然として不透明で、今後企業業績にも悪材料になると考えています。一方、先進国の中央銀行が金融緩和姿勢を長期化すると期待感や新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などはハイイールド債券市場の一定の下支えになると考えています。

今後につきましても、投資対象セクターや個別銘柄の選択に注力し、将来的に財務内容の改善が期待できる銘柄など、柔軟に取捨選択しながら投資リターンを追求する方針です。

### ●国内短期公社債マザーファンド

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第7期		項目の概要
	(2019年9月26日 ～2020年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	159円	1.188%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,382円です。
(投信会社)	( 52)	(0.385)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(103)	(0.770)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 4)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	159	1.190	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

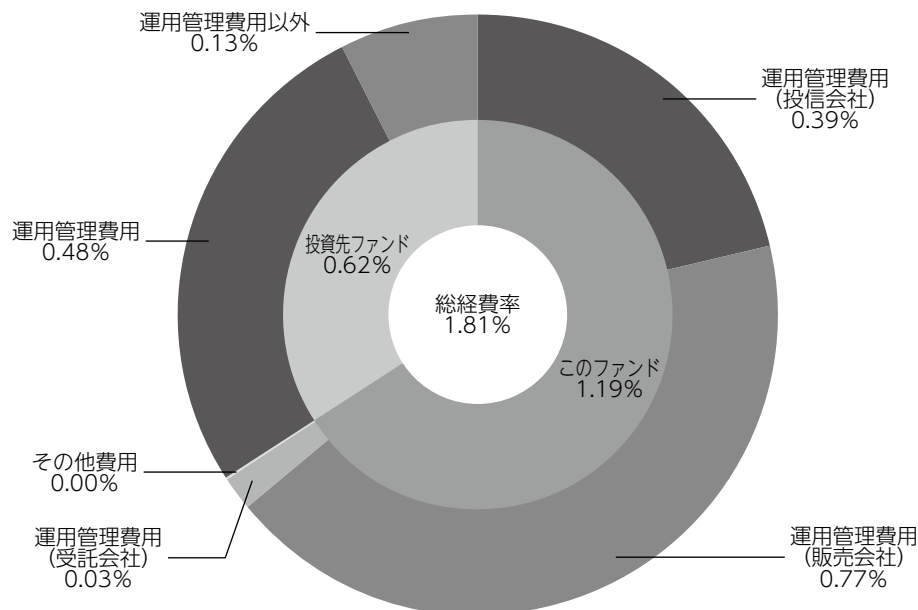
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



総経費率 (①+②+③)	1.81%
①このファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.48%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## ■売買及び取引の状況 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨建	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド-USDクラス	千□ 1,349.767	千円 1,600	千□ 6,416.667	千円 7,250

(注) 金額は受渡代金です。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## ■利害関係人との取引状況等 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首(前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド-USDクラス	千□ 46,624.61	千□ 41,557.71	千円 45,376	% 95.6
合 計	46,624.61	41,557.71	45,376	95.6

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	期 首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
国内短期公社債マザーファンド	千□ 99	千□ 99	千円 99

## ■投資信託財産の構成

2020年9月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	45,376	95.0
国内短期公社債マザーファンド	99	0.2
コール・ローン等、その他	2,267	4.7
投資信託財産総額	47,744	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年9月25日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	47,744,457円
コール・ローン等	2,267,733
投資信託受益証券(評価額)	45,376,863
国内短期公社債マザーファンド(評価額)	99,861
(B) 負 債	287,474
未払信託報酬	286,891
その他未払費用	583
(C) 純資産総額(A-B)	47,456,983
元 本	35,507,028
次期繰越損益金	11,949,955
(D) 受益権総口数	35,507,028口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,366円

(注) 期首における元本額は41,068,347円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は5,561,319円です。

## ■損益の状況

当期 自 2019年9月26日 至 2020年9月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,223,440円
受 取 配 当 金	3,224,202
支 払 利 息	△762
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,413,034
売 買 損 益	348,250
売 買 損 益	△2,761,284
(C) 信 託 報 酬 等	△604,811
(D) 当 期 繰 越 損 益 金(A+B+C)	205,595
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	7,378,279
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,366,081
(配 当 等 相 当 額)	(3,317,537)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,048,544)
(G) 合 計(D+E+F)	11,949,955
次 期 繰 越 損 益 金(G)	11,949,955
追 加 信 託 差 損 益 金	4,366,081
(配 当 等 相 当 額)	(3,317,537)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,048,544)
分 配 準 備 積 立 金	14,840,530
繰 越 損 益 金	△7,256,656

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,619,480円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	3,317,537
(d) 分 配 準 備 積 立 金	12,221,050
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	18,158,067
(f) 1万口当たり当期分配対象額	5,113.94
(g) 分 配 金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。

# WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンドーUSDクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運用方針	主として世界各国の高利回り社債に分散投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。また、効率的な運用を目的として、市場金利や企業の信用状態に関連するデリバティブ取引を行う場合があります。 米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、原則として債券の発行通貨売り／米ドル買いの為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、信用格付けがBB+/Ba1格相当以下の証券に純資産総額の80%以上を投資します。</li> <li>・同一発行体の証券への投資割合は、原則として純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れは行わないこととします。</li> <li>・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。</li> <li>・他のファンドへの投資は、純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・通常の状態において、日本において有価証券に属する証券に純資産総額の50%以上を投資します。</li> </ul>
信託期間	無期限
決算日	毎年3月31日
信託報酬等	純資産総額に対し年率0.50%程度 上記料率には、管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社、保管受託銀行ならびに管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これら報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。
主な関係法人	<p>管理会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド 投資顧問会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー 副投資顧問会社： ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社（東京） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド（シンガポール） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド（メルボルン） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・DTVMM・リミターダ（サンパウロ） 受託会社兼管理事務代行会社：BNY Mellon・ファンド・マネジメント（ケイマン）リミテッド 副管理事務代行会社：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 保管受託銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン</p>

「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーJPYクラス」、 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス」、 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーAUDクラス」、 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーBRLクラス」、 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーMXNクラス」 および 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーTRYクラス」 は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」の個別クラスとなっております。

WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの内容

(1) 損益計算書

2020年3月31日終了年度

(日本円表示)

投資収益

利息 701,282,148円

費用

管理会社報酬 46,016,333円

保管 10,919,312円

専門家 4,516,136円

管理事務代行、会計代行および名義書換代理人 2,832,834円

受託会社報酬 1,022,590円

その他 635,512円

費用合計 65,942,717円

投資純利益 635,339,431円

投資、外貨換算／取引およびデリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）

実現純利益（損失）

投資 (243,886,505円)

先物契約 328,158円

外貨取引 (10,748,176円)

為替予約 (1,250,596,388円)

実現純利益（損失） (1,504,902,911円)

未実現純利益（損失）の純変動額

投資 (740,081,967円)

外貨換算 (564,358円)

為替予約 (404,302,314円)

未実現純利益（損失）の純変動額 (1,144,948,639円)

投資、外貨換算／取引およびデリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失） (2,649,851,550円)

営業による純資産の純減少額 (2,014,512,119円)

(2) 組入上位10銘柄  
2020年3月31日現在

銘柄名	通貨	比率
TEVA PHARMACEUTICALS NE	アメリカ・ドル	4.2%
CHARTER COMM OPT LLC/CAP	アメリカ・ドル	3.2
PETSMART INC	アメリカ・ドル	2.8
CSC HOLDINGS LLC	アメリカ・ドル	1.8
VIRGIN MEDIA SECURED FIN	アメリカ・ドル	1.4
BNP PARIBAS	アメリカ・ドル	1.3
BARCLAYS BANK PLC	アメリカ・ドル	1.3
PRIME SECSRVC BRW/FINANC	アメリカ・ドル	1.3
TARGA RESOURCES PARTNERS	アメリカ・ドル	1.2
TENET HEALTHCARE CORP	アメリカ・ドル	1.2
組入銘柄数	167銘柄	

(注1) 比率は、WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの組入公社債に対する評価額の割合です。

(注2) ウェスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーのデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。

# 国内短期公社債マザーファンド

## 運用報告書

第11期 (決算日 2019年10月31日)

(計算期間 2018年11月1日～2019年10月31日)

国内短期公社債マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### ■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰落	中率			
9期(2017年10月31日)	円 10,084	% △0.05	% -	% -	百万円 690	
10期(2018年10月31日)	10,075	△0.09	-	-	171	
11期(2019年10月31日)	10,069	△0.06	68.3	-	147	

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

## ■当期中の基準価額の推移

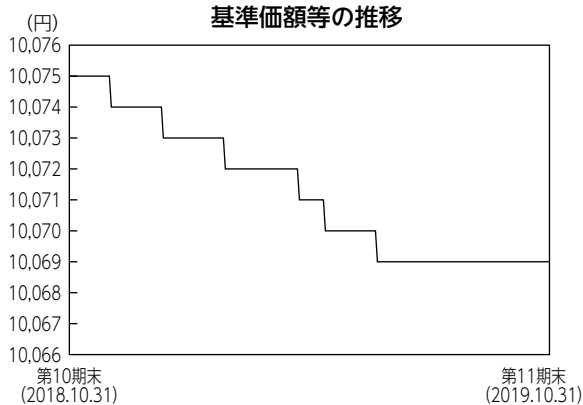
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2018年10月31日	円 10,075	% -	% -	% -
11 月 末	10,074	△0.01	-	-
12 月 末	10,074	△0.01	-	-
2019年 1 月 末	10,073	△0.02	-	-
2 月 末	10,072	△0.03	-	-
3 月 末	10,072	△0.03	-	-
4 月 末	10,071	△0.04	-	-
5 月 末	10,070	△0.05	54.8	-
6 月 末	10,069	△0.06	68.5	-
7 月 末	10,069	△0.06	68.4	-
8 月 末	10,069	△0.06	68.3	-
9 月 末	10,069	△0.06	68.2	-
(期 末) 2019年10月31日	10,069	△0.06	68.3	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。



## ■当期の運用経過（2018年11月1日から2019年10月31日まで）



※国庫短期証券（TB）3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

## ポートフォリオについて

流動性や信用力を勘案し、残存1年以内の公社債を中心に運用を行いました。

## 今後の運用方針

引き続き残存1年以内の公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

## 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の公社債に投資し、安定した収益の確保をはかることを目的として、安定運用を行います。

基準価額はマイナス金利の影響もあり、期首10,075円から10,069円まで下落して期末を迎えました。

## 投資環境

### ●国内債券市場

当期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス金利が継続しました。

2018年の後半から貿易問題などを背景に景気減速懸念が高まったため各国中央銀行は緩和的な金融政策にシフトしており、各国の長期国債利回りは低下傾向で推移しました。一方で、短期のゾーンはレンジの推移となりました。

国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。

## ■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2018年11月1日から2019年10月31日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千円	千円
国	内	地方債証券	101,177	(-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2018年11月1日から2019年10月31日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地 方 債 証 券	千円 100,000	千円 100,570	% 68.3	% 68.3	% -	% -	% 68.3
合 計	100,000	100,570	68.3	68.3	-	-	68.3

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、BB格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(地方債証券)	%	千円	千円	
336回 大阪府公募公債	1.4600	20,000	20,118	2020/03/30
20年度9回 奈良県債	1.3800	80,000	80,452	2020/03/31
小 計	-	100,000	100,570	-
合 計	-	100,000	100,570	-

## ■投資信託財産の構成

2019年10月31日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
公 社 債	千円 100,570	% 68.3	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	46,679	31.7	
投 資 信 託 財 産 総 額	147,250	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年10月31日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	147,250,331円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	46,561,101
地 方 債 証 券(評価額)	100,570,686
未 収 利 息	118,544
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	147,250,331
元 本	146,238,531
次 期 繰 越 損 益 金	1,011,800
(D) 受 益 権 総 口 数	146,238,531口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,069円

(注1) 期首元本額 170,408,938円  
 追加設定元本額 0円  
 一部解約元本額 24,170,407円

(注2) 期末における元本の内訳

ハイブリッド証券ファンド円コース	27,208,015円
ハイブリッド証券ファンド米ドルコース	3,391,713円
ハイブリッド証券ファンド豪ドルコース	4,489,701円
ハイブリッド証券ファンドブラジルリアルコース	16,175,679円
ハイブリッド証券ファンドロシアルーブルコース	2,324,574円
ハイブリッド証券ファンドインドルピーコース	2,228,133円
ハイブリッド証券ファンド中国元コース	1,130,574円
ハイブリッド証券ファンド南アフリカランドコース	236,700円
ハイブリッド証券ファンドメキシコペソコース	8,032,854円
ハイブリッド証券ファンドトルコリラコース	1,090,474円
ハイブリッド証券ファンドマネープールファンド	69,439,367円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド円コース	1,392,481円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース	298,389円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	1,193,555円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース	6,365,626円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドメキシコペソコース	99,207円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドトルコリラコース	99,207円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド	943,105円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド(年1回決算型)	99,177円
期末元本合計	146,238,531円

## ■損益の状況

当期 自2018年11月1日 至2019年10月31日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	516,203円
受 取 利 息	595,712
支 払 利 息	△79,509
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△606,914
売 買 損	△606,914
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△90,711
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,281,197
(E) 解 約 差 損 益 金	△178,686
(F) 合 計(C+D+E)	1,011,800
次 期 繰 越 損 益 金(F)	1,011,800

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。